

国内クレジット認証委員会御中

審査結果概要書

平成 23 年 11 月 17 日

審査機関名 株式会社日本スマートエナジー

1. 排出削減事業の概要

排出削減事業名	神原汽船福山物流センターにおける太陽光発電設備の導入による CO2 排出削減事業
排出削減事業者名	神原汽船株式会社
排出削減共同実施事業者名	カーボンフリーコンサルティング株式会社 (その他関連事業者：パナソニック 電工株式会社)
事業実施場所	神原汽船株式会社 福山物流センター (広島県福山市箕沖町 109 番地 5)
事業の概要	物流センターの屋根に太陽パネルを設置し太陽光発電を行い、その電力を敷地内で使用することにより、温室効果ガス排出量の削減を図る。
排出削減量の計画	2012 年度 122tCO2/年 (事業実施期間合計 122tCO2)
国内クレジット 認証期間	開始日 2012 年 7 月 1 日 終了予定日 2013 年 3 月 31 日
排出削減方法論	方法論番号 008 太陽光発電設備の導入

2. 審査結果

本事業は、排出削減事業の要件に適合している。

3. 実施した審査手続きの概要

審査手続きにより、以下の排出削減事業の認証の要件の妥当性を確認している。

要件	審査手続き
日本国内で実施されること	<p>事業計画が日本国内で実施されていることを、事業サイトを訪問して確認した。</p> <p>事業実施サイトの場所： 神原汽船株式会社 福山物流センター (広島県福山市箕沖町 109 番地 5)</p> <p>事業実施サイトの視察日付：2011 年 10 月 31 日</p>
追加性を有すること	<p>1) 法的義務がないこと 本事業は、法的義務等の遵守のために計画されたものではなく、CO2 排出量の削減を目的として実施されたことを質問等により確認した。</p> <p>2) 本事業の実施は、太陽光発電により得られた電力で購入電力を削減することにより CO2 排出量を削減することを目的とした、経営上の環境への配慮施策であることを排出削減事業者への質問、発電実績データ等の関連資料の閲覧により確認している。</p> <p>3) 投資回収年数 本事業の投資回収年数計算については、入手した根拠資料、質問および検算により、補助金を除いた純投資額をもとに算出した結果、21.6 年であることを確認した。投資回収年数の根拠データにつき、関連証憑と突合することにより正確性を確認している。</p> <p>4) 本事業者は、従来から物流効率の改善や省エネ等に積極的に取り組んできた。本事業については、温室効果ガス排出削減支援事業という事業に応募することにより、環境配慮を重視する経営姿勢を示すことができることから、事業実施に至ったことを事業者への質問により確認した。</p>
自主行動計画に参加していない者により行われること	<p>本排出削減事業者は、自主行動計画を持つ日本船主協会に加盟しているが、日本船主協会の自主行動計画の対象は輸送船舶に係る排出量であり物流施設の排出量は対象外であることを、排出削減事業者や関連事業者への質問および自主行動計画フォローアップ資料の閲覧等により確認した。</p>

<p>排出削減方法論に基づいて実施されること</p>	<p>1)本排出削減事業は、承認排出削減方法論 008「太陽光発電設備の導入」に基づき排出削減量を計算しており、また、方法論の適用条件を満たしていることを個別に確認している。</p> <p>【方法論番号 008 太陽光発電設備の導入】</p> <p>適用条件 1 については、設備の仕様書や工事図面の閲覧、導入された太陽光発電システムの現地での目視により確認した。</p> <p>適用条件 2 については、太陽光発電システムで発電した電力が、電力系統からの購入電力を代替するものであることを、設置工事の仕様書や電気系統図、導入前後の電力使用量データ等により確認している。</p> <p>適用条件 3 については、太陽光発電システムからの電力を自家消費することを、電気系統図の閲覧、関係者への質問および現地往査により確認している。</p> <p>2)その他、バウンダリの設定、ベースラインの設定、リーケージの特定、排出削減量、モニタリングの方法が適切であることについて、それぞれ質問と関連証憑により確認している。</p>
----------------------------	--

上記の詳細については、別紙「排出削減事業の要件についての確認事項一覧」を参照すること。

4. 特記事項

特になし

以上